

令和8年5月7日

報道機関 各位

今福龍太×福島亮対談「声の島々をわたる—未来の読者への
「環カリブ海」入門」の開催について

令和8年5月16日（土）に、東京外国語大学名誉教授であり、文化人類学者・批評家として知られる今福龍太氏と今福氏の論文集を編纂した福島亮（本学人文学部講師）による対談「声の島々をわたる—未来の読者への「環カリブ海」入門」を本学人文学部にて開催いたします。

今福龍太氏は、1980年代から南北アメリカ大陸の様々な地域で人類学的フィールドワークを行い、その成果を1991年に著書『クレオール主義』により世に問いました。以後、現在に至るまで30年以上にわたり、複数の地域を横断する文化現象にかんして重厚な著書を発表してきました。その業績は、第68回読売文学賞（『ヘンリー・ソロー 野生の学舎』みすず書房、2017年に対して）、第30回宮沢賢治賞、第18回角川財団学芸賞（『宮沢賢治 デクノポーの叡知』新潮選書、2020年に対して）など、数々の賞により高く評価されています。

対談者である福島亮は、本学人文学部講師であり、今福龍太氏がカリブ海について執筆してきた論放を集成した『私という群島—今福龍太 環カリブ海論集』（平凡社、2026年5月10日刊行予定）の編者です。

このたび、今福氏を富山大学にお迎えし、「環カリブ海」という主題をめぐって対談を行います。「環カリブ海」とはどのような場所を指すのでしょうか。これらの地域から生み出された文化や思想とはどのようなものなのでしょうか。こうした様々な問いについて、カリブ海地域から生まれた音楽を聴きながら対話形式で掘り下げます。文学、思想、文化、社会情勢一般に関心を持つ学生、教職員、一般の皆さまのご来場を歓迎いたします。

つきましては、本件について取材・報道方よろしくお取り計らい願います。

記

- 日時・場所 令和8年5月16日（土）15時30分～17時30分（15時00分開場）
富山大学人文学部第6講義室（富山市五福3190）
- 参加対象 学生、教員、一般
- 申込方法 予約不要

【本発表資料のお問い合わせ先】

富山大学 人文学部 福島亮研究室

TEL : 076-445-6131（人文学部総務担当） E-mail : ryofkshm@hmt.u-toyama.ac.jp



私は人々の想いを^{こだま}を伝わせる声だ
——オク・オヌオラ (ジャマイカ)

今福 龍太 × 福島 亮 『私という群島 —— 今福龍太 環カリブ海論集』刊行記念対談

声の島々をわたる —— 未来の読者への「環カリブ海」入門

2026年5月16日 (土)

開場 15:00 開演 15:30

富山大学人文学部 第6講義室

人文学部棟 3階

予約不要、無料

一般参加歓迎

イベント終了後、サイン会あり

お問い合わせ

富山大学人文学部福島亮研究室

ryofkshm@hmt.u-toyama.ac.jp

1991年に出版された『クレオール主義』以降、「環カリブ海」をめぐって30年以上にわたる思索を言葉にしてきた文化人類学者・批評家、今福龍太。

2026年5月10日刊行の『私という群島 —— 今福龍太 環カリブ海論集』（福島亮編、平凡社ライブラリー）は、そんな今福の文章を未来の読者に手渡すために編まれた「環カリブ海論」の集大成といえる書物です。この書物の特異な点は、魅力的な引用の数々を通して、「環カリブ海」の様々な「声」が聞こえてくることでしょう。

この対談では、音楽や朗読をDJ風に聞きながら、「環カリブ海」の魅惑的な声の持ち主をめぐって著者と編者が語り合います。未来の読者へ向けた「環カリブ海」入門です。

